

コンサルタンの現場から

第35回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタンの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

変わるローカル人材

先日、弊社のコンサルタントのタイでの支援先を訪問する機会があった。以前、訪問したのは、9カ月ほど前のことである。現場がどのように変わっているか、また、ローカルの皆さんの取り組みは、ベルはどうなっているか大変楽しみにして訪問したのである。

顔つきの変化

会合前にプロジェクタメンバに会った瞬間、ものすごく驚くことがあった。それは、ある職場のリーダーとして、女性社員のことなのだが、顔つき、姿勢が、以前とは別人ではないかと思わせる姿に変わっていたことである。実は、彼女は、以前はプロジェクタ活動でもできるだけ目立たないように隠れるように参加していた。コンサルタントから現場を確認すると言われても、まだできていないので次回にしてくれと

か、指導を受けたことも、なかなかメモもできず、実行は常に遅れていた。ところが、今回訪問すると、一番前に出て、極めて積極的に顔つきが以前とは全く違うのだ。「その後活動は進んでいますか」と聞くと、「是非、現場を見てくれ」と、自信を持って話をしてくれ。以前の小さな声で話をしていた彼女は、どこにいったのだという状況。

様変わりした現場

現場を見せてもらおうと、以前とは様変わり。中二階が撤去され、物が無くなっているのが当然景色は変わっている。物が減っただけではなく、物も取り出しやすいように斜めに配置され、一目でわかる置き方に変わっている。どこに何がいくつあるかわからなかった以前の状況からは全く別の現場ではないかと思わ

せるほどの変化である。彼女が自信を持って説明できるだけの現場に変わっていたのである。一つのヒントからアイデアを膨らます

さらに驚いたのは、他の職場を巡回している時も、コンサルタントの話を聞き流ささないようにと一番前ですっかりとメモをしているのである。ある職場で、多くの種類のピスがあり、電気ドライバのトルクの管理も含めて大変という職場があった。コンサルタントは一つのヒントとして、色の使い方の話をした。答えは言わなかったが、使うピスの色とドライバの色を合わせることで間違いもなくなるというこののだが、その色の使い方の話を聞いた彼女は、その考え方は自分の職場でも応用できると言っていた。具体的に、このようにグループ分けして色を関連付けるとピッキングするのにもミスもなくなるというやいっている。どうするとよいか、少しのヒントからイメージが膨らんでいるのである。

このような気付きができて、また、アイデアが発想できるようにになると、当然、すぐにやってみようということになる。一番、改善が遅かった彼女の職場が、今では、先陣を切って変化してきているの

は、このような力を付けてきたからである。自ら考えさせる

ところで、なぜここまで彼女は変身することができたのであろうか。どの企業でも、人を育成し、やる気を持った人材に変革することの重要性は理解している。しかし、真に人を変革することは難しい。「やれと言ったのに、いつまでたってもできない」「カオチャイ(わかった)と言っていたが、実際はわかっていない」。タイでは出向者の皆さんから、このように話を聞くことが多い。しかし、その前に本当に理解されるように話してきていないのではなにかと思ふことが多い。目的や意図を説明せずにやれとだけ言われても、とても意に沿うものにはできない。また、ローカル自身が考えることができるようにならないければ、いつまでたっても変革することは難しい。今回、彼女が変身した姿を見て感じたことは、一つには、弊社

のコンサルタントの徹底した自ら考えさせるという指導方針だ。彼はヒントは言ってもこうするとよいというところまでは絶対に言わないことにしている。それを言う、その通りに実施するだけで、自ら考えてやる力がつかないからである。どうするとよいかという基本の考え方を、生活の中で誰もが経験する事例を使って徹底し、発想のヒントを出すことで、自ら考えることの楽しさ、また、実行して変革することへの楽しさを実感できるように指導しているのである。

やってくれたことに気付き褒める

併せて、もう一つ重要な点は、この会社のトップが、ローカルの皆さんがやってくれたことに気付き、そのことを褒めているということである。

ローカル人材の育成には、まずは、目的をしっかりと認識してもらおう、その上で自ら考える場を与え、難しい

人事情報、掲載します
新任・帰任・異動など
 人事情報を掲載させていただきます。
 掲載ご希望の企業の方は下記までご連絡ください
 バンコク週報 info@bangkokshuho.com

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉

(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経 BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMC(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

電子機器メーカー様 (2015年竣工) ナコンパトム県

自動車部品メーカー様 (2014年竣工) サムットプラカーン県

バルブメーカー様 (2013年竣工) チョンブリ県

www.tcctecnica.co.th

タイでの工場建設・増築

お任せください!

タイでの工場建築・増築・設備に経験豊富な日本人が全力でサポート!

提案力かつローコストが強み! 工場内設備・電気設備も一括対応

設計・施工・メンテナンスも一貫して自社社員でフォロー!

お問合せはこちら Tel: 081-991-5078 (杉浦)
 E-mail: sugiura.tcc@tcctecnica.co.th
 TCC TECNICA CO.,LTD.
 (本社パトナーニ・支拠点シーラチャ 日本人社員6名)
 122 Moo.20 T.Klongnueng, A.Klongluang,Pathumthani 12120

人と空気と水の環境創造

SANKEN-EMC Company Limited

ITF Tower 140/66, 28Floor Silom Road, Suriyawong Bangrak, Bangkok 10500
 TEL : 0 2615 6100 FAX : 0 2615 6128-30
 E-mail: info@sanken-emc.co.th www.sanken-emc.co.th

三建設備工業株式会社とタイ王国の実績豊富な上場ゼネコン EMC PUBLIC COMPANY LIMITED社の共同出資会社として建築工事・空調設備・衛生設備・電気設備・クリーンルーム設備などのプランニング設計・施工・保守・リニューアルなどの一体的なサービスを提供します。

「JAPANスタンダード&ローカルコスト」にてご提案します。